軽井沢ライフのための情報紙 ● Karuizawa News Paper

No.198・199 合併号（毎月 10 日頃発行）

軽井沢新聞

12・1月号 Dec 2019/ Jan 2020

編集局 Tel.0267-46-3001 Fax.0267-46-3880
〒389-0111 長野県軽井沢町長倉 2380-27

身近な情報を編集局までお寄せ下さい ● E-mail info@karuizawa.co.jp
広告に関するお問い合わせ ● 株式会社アドエイド Tel.0267-46-0055

軽井沢人物語

エルミタージュ・ドゥ・タムラ 元シェフ

田村 良雄 さん

料理人として一線を退くも、家では毎日３食手づくり

「料理人になるつもりはなかったけど、何か他のことをやりたかった」と、６年間勤めた東京電力を 24 歳で退職。会員制レストラン「東京アメリカンクラブ」で働くうち、本物が見たくなり 27 歳で渡仏し、４年間で３軒を渡り歩いた。３軒目の「ホテルネグレスコ」では、独創的な料理を次々に生み出し、名を馳せていたジャック・マキシマンに師事。試作の料理を食べ、その味に驚いた。

「えらくまずかったんです。こんな有名なシェフでも試作はまずいんだから、セオリーは気にせず、好き勝手作ればいいんだと思えた瞬間でした」

帰国後、32 歳で「フェヤーモントホテル」総料理長に抜擢されると、修業時代には得られなかった充足感があった。

「自分で考えた料理を提供し、お客さんが喜んで、また来てくれる。もう面白くてね、一年のうち 363 日はホテルにいましたよ」

西麻布に自身の店「ラ・フェ・ドール」を構え、40 代も半ばにさしかかった頃、疲れがピークに達し、ふと「空が見えるところにお店を持ちたい」と思うように。妻の久美子さんの助言もあり、生まれて初めて軽井沢へ。最初に見た物件の佇まいが、修業時代のフランスの店に似ていて一目で気に入り、東京の店をたたみ 2000 年、「エルミタージュ・ドゥ・タムラ」をオープンした。

地方での開業は初めてだったが、口コミなどで評判は広がり「お客さんが来てくれるかどうか」という心配は、杞憂に終わった。

「軽井沢は知的な雰囲気があって、客層がいい。今、一線でやっている知り合いの東京のシェフでも、出店を考えている人は多いですよ」

５～６年前から、立っているのも辛いほどに腰の痛みが悪化。手術したのを機に 2017 年３月に引退し、弟子の大塚哲也シェフに店を引き継いだ。今は、自宅の庭で野菜やハーブを育て、海釣りに行き、雨の日は草履作りなどをして過ごしている。キッチンには毎日立ち、料理は３食、奥さんの分もしっかり作っている。

「娘からはカツオとか、マグロとか、回遊魚のようだって言われています。何かしていないと死んじゃうって。ストレスはゼロの生活ですね」

今後は老人施設に出向いて料理を振る舞ったり、無理のない範囲でボランティアもしていきたい考えだ。

多くの自治体では既に制定、18年かかって
「環境基本条例」の策定へ前進

軽井沢町の議会で、平成12年から平成30年までの18年の間に、３人の議員が６回も一般質問で取り上げてきたが実現されなかった「環境基本条例」「環境基本計画」が、ようやく制定される運びとなった。

「軽井沢自然保護対策要綱」は土地利用・開発に関する事業者に対するものだが、「環境基本条例」は環境保全のために、行政、住民、事業者、来軽者がそれぞれの責務を明確にして、環境保全の基本となることを定めるもの。佐久市や小諸市など、多くの自治体では既に取り決めている。

平成12年の軽井沢町議会で、環境基本条例が必要と言う議員の一般質問に当時の町長は「身近なところからでも進める」と前向きだった。しかしその声は次第に遠のいていった。平成14年、15年の議会では「検討する」で終わった。平成17年、しびれを切らした議員から「策定の意思はあるというが、実施計画すらない」と不満の声があがった。町長が代わっても進むことはなかった。

平成29年、若手議員からも「町が実施したアンケート調査でも自然環境の満足度が低い。環境基本計画、環境基本条例が必要と平成12年からずっと言っている」との声があがったが、環境課長は「軽井沢には自然保護対策要綱がある。環境基本条例を制定する考えはない」と答弁した。しかし平成30年になると一転、環境課長は「個別の計画を体系的に取りまとめ、環境計画の策定を進める」と断言した。今年11月には、環境基本条例策定の資料が自然保護審議会で配られた。

なぜ、今になって制定の方向になったのか。4月新任の浅賀信雄環境課長は「軽井沢で開催のG20で環境がテーマだったことやSDGsなど時代の流れがある」と答え、今年度、来年度と検討し基本条例を制定、その後1年遅れで基本計画を策定する予定を示した。

平成12年から議論を続けてきた内堀次雄さん（前・町議会議員）は「長年訴えてきたことがようやく認められた。住民が参画して、実になる条例を作ってほしい」と声を弾ませた。

1期目からこの問題を取り上げてきた押金洋仁議員は「周辺の市町村より後発になるが、より意欲的な条例の策定を望む。軽井沢は色々な人たちが交流する場でもあるから、幅広く外側の人からの意見も聞いた方がよい」と述べた。

災害時の情報発信

町公式SNSアカウント開設へ

5議員一般質問、有志が署名提出

軽井沢町は12月2日、町議会12月会議一般質問の答弁で、今年度中に公式SNSのアカウントを開設し活用していくことを明らかにした。10月の台風19号を受け、災害時の情報伝達については、5人の議員が質問。町はこれまで情報の誇張やデマの拡散などを危惧し、SNS活用には慎重姿勢だったが「近隣自治体においての積極的な活用、有効性を承知している」。リスク対策を含め検討しているとした。

開設するSNSについては、ツイッターとフェイスブックを考えているという。

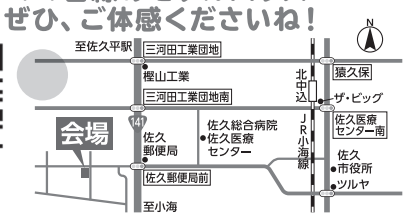
追分の櫻井泰斗さんは12月9日、災害時の町の情報発信プロセス改善を求め、藤巻進町長に署名を提出した。台風19号での町の情報発信に疑問を感じ、協力者とともに10月24日から署名活動を開始。町内飲食店などに用紙を設置し、オンラインと合わせて632人の署名を集めた。署名では、町の公式SNSアカウントの開設、有事の際の各媒体での発信内容の統一、気象庁や周辺自治体などと連携した情報発信の3つを求めている。櫻井さんは、「町の開かれた情報は、災害で不安な気持ちでいる住民だけでなく、別荘所有者や旅行者にとっても大きな力になる」と話した。

「家のリフォーム」は三井のリフォーム軽井沢店へ
※住宅リフォーム補助金が支給されています。詳しくはお問合せください。
三井のリフォーム 5つのお約束
1.お客様のご要望をすべてお聞きします。
2.資格の無い監督には任せません。
3.追加工事はお客様のご確認いただいた後で。
4.価格以上の満足をご提供します。
5.今まで過ごされた思い出を大切にします。
リビングダイニング / 寝室・和室・書斎 / 洗面・トイレ / キッチン・浴室 / 外観・エクステリア / 水漏れ・雨漏り
あなた様のご予算に合わせてご提案させて いただきます。
軽井沢町 住宅リフォーム補助金 対象企業
リフォーム一筋20年
都市に豊かさと潤いを 三井不動産グループ 三井のリフォーム 軽井沢店
〒389-0102 長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢1323-42〈営業時間〉9:00～18:00
見積り無料!!
悩んでいないで、まずはお電話ください！
(0120)278-321
大井建設工業株式会社
○一級建築士事務所佐久川第6058号 ○長野県知事許可(特般-22)第12426号

全国第1位の社長表彰をいただきました。

WEBで検索! 三井のリフォーム軽井沢店 検索
ホームページが新しくなりました。
www.karuizawa-reform.com
メール karuizawa@mitsui-reform.com
三井のリフォーム軽井沢店 軽井沢高校 軽井沢警察署 国道18号線 至小諸 至軽井沢駅 北陸新幹線 しなの鉄道 国道18号線軽井沢高校となり

女性設計士がママ目線で考えた
家事楽の家

住んでから一番重要なのは住みやすさです。"女性"であり"ママ"であり"主婦"目線で設計した住みやすさ重視のモデルハウスをぜひご覧ください。
モデルハウス見学
随時受付中
ご予約の方にはパンフレットプレゼント！
ママ目線のモデルハウス
ぜひ、ご体感くださいね！
詳しくはコチラ


ご予約はこちら 大井建設ホームページ http://www.kosodate-ouen.com
0120 FREEDIAL 0120-33-4152
メールの方はvip@ooi-kensetsu.co.jp
大井建設工業
子育て世代の安くていい家 専門店 株式会社
■本社／御代田町馬瀬口1670-74